阿部 卓也 県政レポート 2017年度 総括号

2017年 12月本会議 一般質問登壇報告

1.ビックデータ・オープンデータを活用 したイノベーション (新しい活力を創るこ

と)を興す体制づくりを提案。

近年ICT (情報通信技術)の進展が急速 に進み、データの利活用が経済・社会を牽引 する時代になりました。それに対応するため に、県として産官学の多様な人材を登用して 体制整備をすべきであると提案したところ、 2018年度に「高度情報化基本計画(ICT 戦略2018)」を策定し、産官学のメンバー ムにさまざまな取り組みを積極的にしてゆくと の答弁がありました。早速30年度事業に提 案内容が反映されています。

2.防災力の強化のための6つの提案

つの提案をおこなったところ、①県有施設の防 災対応機能を向上させるよう中長期視点から 改築・改修の調整をしてゆく②災害時に必要と □ (半素の配置から立 □ 四所、バックアップ要員の訓練などを十分に してゆく③消防団に「ドローン」「オフロードバイ ク」の配備を進め、訓練も実施する(M)は、 災訓練に中高せのな 災害時の地域の戦力となってもらえるよう意識 付けをすすめてゆく⑤県内大学との災害時協 定の締結を進める⑥熊本地震の教訓を生か して「避難所運営マニュアル」の改訂を行うと

3.新「ふじのくに物流ビジョン」の策定

新物流ビジョンに入れ込むべき現場の状 況や時代の要請にもとづいた提案を行ったと ころ、①物流における自動化や省力化を見込 んでの研究や実証実験の実施・新技術の導 入による効率化②人手不足、商習慣の改 善、トラック駐車スペースの改善などについて 各業界とともにハードソフト両面での改善努 カなどを今回盛り込んだ新ビジョンの策定

また同時に、物流業を本県の基幹産業の

4.ボーイスカウト活動支援について提案。

日本におけるボーイスカウト活動の発祥の 地でもある静岡県としてボーイスカウトの灯を 消してはいけない。ボーイスカウト活動は防災 に役立つサバイバル能力の育成や、アウトドア 活動を通じての自然保護活動や環境問題に ついて考えることができるすばらしい実践の場 であるので、学校評価に活動実績を加味しさ らには地域の防災力の向上への参画、アウト ドアメーカーなど民間企業とのコラボレーションなどを検討するベきとカップス ンなどを検討するべきと力説!それに対して県 としてできる範囲でのさまざまな活動支援、活 躍の場をつくってゆきたいとの答弁がありまし た。今後も、数少ないボーイスカウト出身議員 を約束しました。 また同時に、物流業を本県の基料性系 また同時に、物流業を本県の基料性系 としてしつかりバックアップしてゆく所存です。 30年度早速、防災面でのはました。 30年度早速、防災面での活動の場づくり が検討されています。

ごあいさつ

新年度がスタートしました。華やぐ季節でもありますが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

この季節、花々が咲き誇り、若草が萌え、鳥たちが歌い舞う、命あるものすべてが清らかで生き生きとする 季節です。まさに七十二節気の「清明」のころ。そして新たな生命をはぐくむ恵みの雨「穀雨」そして「ハ十ハ 夜|新茶の季節もすぐそこです。

県議会の新年度は5月からです。新年度を迎えるにあたり、静岡県としても県議会議員阿部卓也としても、 いままでの積み上げがあって、そこに新しい積み上げをして、さらなる高みを目指すという体制、姿勢でなけれ ばならないと思っています。私は平素より「決算をして語るしむべき」と考えていますので、昨年度の施策をきち んと総括して、新年度に向けての予算編成や施策提案や議案審議をしてまいりました。今号は、その高みをめ ざす"次の一歩"を踏み出すための2017年の総括と活動実績をまとめてさせていただきました。この総括を 2018年度につなげてまいりますので、ぜひご一読を

【(("あべたく"の活動を ラジオで発信中!

『はるかのスムージーカフェ』

賜りますようお願い申し上げます。



fm Haro! 76.1MHz

阿部卓也事務所 ふじのくに県民クラブ 浜北区支部

浜松市浜北区宮口460-6 TEL.053-582-1400 FAX.053-582-1401

E-Mail: abetaku@iris.ocn.ne.jp

http://www.abetakuya.jp





I I

5.働き方改革についての提案。

「働き方改革」は部分的改革だけではダメ。県 庁組織を例にすると、組織体制や能力、人材構 成にも強弱があり、それらを全体像としてきちんと 把握して、ICT技術や人材の補強や育成を組み 合わせて戦略的に展開してゆくことが必要であ ると訴えたところ、知事から「まず県庁がお手本 になるように、職員ひとりひとりが個性や能力を発 揮できる職場づくりと、幅広い視野と先見性、創 造性を備えた人材の確保と育成を図り、全県に 広めてゆきたい」との答弁がありました。

少子高齢化が進み、ICTやロボットによる労 働分野が広がってゆく"変革の時代"ですので、 静岡県の未来の社会構造を大きく左右する重 要な問題として、経済界、労働界などともしつかり 連携して、今後も積極的に取り組んでゆく所存

6.県立森林公園の歩道整備について

30年度実施、

平成27年に策定した「県立森林公園再整備計画 | に沿って着々と 整備が進んでいますが、地元要望の強い歩道の整備が不十分です。 具体的には、公園内車道脇の歩道整備のうち、車道と歩道の境として、 飛び石状の縁石があるが、苔むして縁石とわからず衝突してパンクをす る車が相次ぎ、これでは歩行者の安全もままならないので、抜本的な改 良を求めました。また、公園西側の県道熊小松停車場線は狭隘で歩道 もなく、歩行者には危険極まりない状態です。ちょうど浜松市による処分 対して「飛び石状のブロック」については早急な改善に着手し車と歩行 者両面の安全を確保すること、また県道熊小松線の歩道整備につい ては、公園利用者の利便性の向上と安全な歩行確保のため歩道整備 協議を浜松市と進めてゆく。と答弁がありました。

今後も、よりよい公 園にしてゆくために森 林公園整備には力を 傾注してゆく所存で





県道熊小松停車場線

7. 「トレーラーハウス型の交番」の導入提案

人口急増地区でありながら、警察の規定で交番 の新設が困難なところがあります。例えば浜北区染 地台。現状では浜名中学校区には小松交番があ り、移設も困難であるため交番設置ができません が、人口比重やこどもたちの数、交通量などを考え 合わせるとどうしても交番の設置を求めてゆきたいと 考えています。そこで、知恵を絞り、移動のできるト レーラーハウス型の交番を導入したらどうかとの提 案をいたしました。この交番であれば、今年開催され るラグビーワールドカップや、2020年のオリンピック などでも移動して活用できるという利点もあるので、 ぜひ実現をしてもらいたいと提案しましたが、現時点では法律上難しいこともあり、今後の別のカタチも含めて研究してゆくということになりました。

今後も、染地台への交番の設置努力および、全 県の安心安全を機動的に実現できるよう、居住性 → に優れた移動型の交番の導入研究など、さまざまな 努力をしてゆくつもりです。

議員は政策をつくるもの。2017トピックス 会派提案の政策は数多く具現化されていますが、浜北区版では特に阿部卓也議員が関わった政策提案で実現されたものをご紹介します。

①おもてなし認証制度の導入

経済産業省が実施している、サービス業の質と付加価 値の向上、そして観光産業の確立などをめざして、全国

10地域でモデル導入された 制度です。導入にあたり太い パイプのある経産省や県内金 融界・経済界や諸関係者との 調整をサポートさせていただ

き、実施にこぎつけました。 現在、参加企業数は順調に 増えており、地方でありなが ら東京など大都市を抑えて全 国のトップを走る先進事例と なりつつあり新聞各紙でもよ く取り上げられるようになり ました。今後に"乞うご期待" です。



②「TOUKAIゼロ」の未実施家屋に対する個別訪問等の開始

防災先進県静岡県の目玉がこの「TOUKAIゼロ 制度一つまりは、木造老朽化施設の耐震化ですが、近年 対策実施数が頭打ちになっています。これについて平 成20年に自分なりに内容分析をしたところ、対策を渋 る原因は①高齢者のみの住宅②経済的理由と明確で あり、それに対応した施策展開を提案してきました。 耐震化工事ほどお金のかからない「防災ベット」や「防 災ルーム」の整備、補助制度の充実などを講じてきま したが、着実に100%実施にこぎつけるために、今年 度からはその施策を対象の方に個別訪問を始めまし た。また、シニアクラブ(老人クラブ)での個別説明会 をお願いするなど、さまざまな角度からの提案を忘れ ず、なによりも大切な命を守るために地味でも着実な 政策推進を進めています。



③「避難所運営マニュアル」の改定

12月議会質問を受けて避難所運営マ ニュアルの改訂がなされました。

熊本地震の教訓も生かして、より具体 的な内容となり、また、学校の使用規定や 福祉避難所などの規定もより現実的な見 直しをしています。



④工業用水の消火栓増設

工業用水道の利活用の拡大策について、工業用水沿線で近 年二一ズが生じた場所に消火栓の新設を提案。対象になる市 町消防に打診して検討することになりました。

⑤高校生の医療費無償化

川勝平太知事3期目の公約でもあった「高校生の医療費無 償化」が早くも実現!(平成30年10月予定)これで高校生が 思いっきりスポーツや課外活動に取り組む一助になれば幸い です。(※ただし、政令指定都市は政令市移行時の協定により 県の支援が受けられませんので、市独自の判断になります。ゆ えに現時点では静岡市、浜松市は実施が未定です。協定改定は 困難ですので、両市には"こども第一主義"でお考えいただき 全県での実施を決断され、別の方策で県との協働を考えるの が得策です。私たち県議会としては、より現実的で建設的な提 案を両市にしてゆく所存です。)

⑥米国・ジョージタウン大学 短期留学制度新設

「世界の名門大 学100」の常連で ある、米国ワシン トンDCにあるジ ョージタウン大学。 阿部卓也議員が 留学していたご縁



もあり、このたび県内高校生が夏休みの2週間 短期留学できる提携を締結しました。200年の 伝統とクリントン元大統領や元国連の緒方貞子 さんを輩出した世界に冠たる国際外交学のトッ プクラスを垣間見てみませんか?上限30万円 の補助制度もあります。

詳しくは、県内各高校にお問合せください。も ちろん阿部事務所でもOK!

FUJINOKUNI KENMIN CLUB



ふじのくに県政レポート

~静岡県議会ふじのくに県民クラブ 浜松市浜北区版~

【ごあいさつ】

百花繚乱の季節がやってまいりました。温暖の地・静岡県も今年は特に寒い冬であった気が しますが、そのせいか、例年以上に花は美しく木々の緑がまぶしい気がいたします。

私たち静岡県議会第2会派「ふじのくに県民クラブ」(21名)は、2017年度は川勝平太知事 の3選を支え、知事与党として県政の屋台骨を担ってまいりました。

またそれ以上に、生活感の中から政策をつくる、現場本位の政策集団として精力的に活動を してまいりました。今号では2017年度の総括として会派の主な政策提言、そして浜松市浜北区 版では阿部卓也議員の議会活動ならびに政策立案実績等のご報告をさせていただきます。

2017年度は今号をもって総括となります。1年間の温かいご指導ご支援にこころからの感 謝を申し上げます。5月からは会派役員も一新され新年度に臨むことになりますが、新年度は 我々現県議会議員の今任期の4年目最終年となります。ふじのくに県民クラブの集大成とでき ますよう会派一丸となってさらに精進してまいる所存でおりますので一層のご指導ご鞭撻をお 願いいたしまして、2017年度の御礼ご挨拶とさせていただきます。

最後に重ねて会派一同、静岡県の益々の発展に尽力してゆくことをお誓い申し上げますとと もに、県民の皆々さまのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

ふじのくに県民クラブ 会長 岡本 護



実現力のあべたく

浜北区2017業務実績

"安心安全と夢はつくることができる""お金がなければ知恵を絞る" そんなポジィティブ思考を信条にしてシゴトをしています!

1.信号機新設

浜北署管内の交通安全対策については、県議会文教警察委員長在任 時より特にさまざまな方策を講じて尽力をしています。まずは信号機ですが、県 内一の人口急増地区である染地台自治会内の2か所、貴布祢4区など精力 的に設置をしています。今後とも事故が起こる前にひとつでも多くの信号整 備を進めてまいります。

①染地台1丁目交差点 ②八丁谷橋交差点 ③美薗中央公園西交差点





染地台1丁目交差点

2.西坂整形外科前横断歩道新設

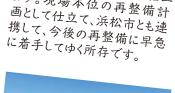
内野自治会からのご要望で、西坂整形 外科前に横断歩道を新設しました。現地調 査、担当課の方との熟議を経て、新設にこ ぎつけることができました。

ご来院されるみなさま、バスを利用されるみ なさまに安心して道路横断をしていただけ



3.馬込川の河川管理と整備促進について

県議会建設委員当時、馬込川沿岸自治会のみ なさまと県との意見交換会を設置したことを皮切り に、馬込川堤防の草刈りの行政と自治会の役割分 担や堤防の簡易舗装整備、さらには自治会や水防 団のみなさまなどからの意見聴取もいただき時勢に あった馬込川の再整備計画の策定を推進してきま した。現在、「馬込川水系河川整備計画原案」が 県民の意見をいただいて仕上げの段階に入ってい ます。現場本位の再整備計







新橋付近

7.浜北西高校と常葉大学の公私の枠を

超えた包括連携協定締結 1月30日、浜北西高校と 県内私学の雄・常葉大学と の間で包括連携協定が締 結されました。私も地元高 校の活性化のために陰に 日向に尽力をしてきましたの で、ひとつのカタチとして結 実したことは感無量です。 これにより公私の枠を超え ての県内初の高大連携が

つ蒔かれました。



常葉大学 学長 浜北西高 校長

4.馬込川堤防の緊急かさ上げ

近年の気候変動により集中豪雨的な雨の降り 方が増えています。馬込川は全流域にわたって洪 水被害がでており、浜北区内でも新原、小林、小 松、平口、内野地区では市が管理する合流地点 で逆流被害などもあり大変ご心配とご迷惑をおか けしております。

6月21日の豪雨時に越水した新原下善地区 の堤防部分については、浜松土木所長による緊 急視察と応急処置としての堤防のかさ上げを速 やかに実施いたしました。今後も地元自治会や水 防団のみなさまとよく連携して対応を急いでまいり



新原下善橋

8.耕作放棄地の解消と農地の 災害防除対策への取り組み

浜北区地内での耕作放棄地の解消に努めてい ます。赤佐6区地内では農地復元と、傾斜地のため 集中豪雨時対策として貯留池および排水路などの 整備を就農者と県西部農林で協力して実施しまし た。今後も、耕作放棄地の解消、災害防除、新規就 農者の支援などを精力的に行ってゆきます。



赤佐6区地内

5.西ノ谷池耐震補強と最新監視設備の導入

農業用溜池の耐震補強工事を全県で進めておりますが、 浜北区においては、浜松市と共同で尾野地内の西ノ谷池の 整備をさきがけて行いました。なお、整備に際しては、ご要望の ーパートラブナの保護をしやすい工事形式へ変更をするとと あったヘラブナの保護をしやすい工事形式へ変更をするとと もに、建設委員当時に提案した整備費用が安価に抑えられる [携帯電話を活用した監視システム]を実現させ、全県で初 導入しました。これで、豪雨時に危険な現場まで行かなくても 状況把握ができるようになり、関係者の安全を守り迅速な対

策実施を可能に しました。「政策の 阿部卓也」の面 目躍如です。今 後も、浜北区内 のため池の耐震 工事を順次進め てまいります。



6.森林公園の整備促進

森林公園の整備につきましては明確 なカタチができつつあります。おかげさま で当選以来の尽力の成果もあり、私が当 選した平成19年が936万円の予算を、 平成29年度予算は1億4400万円、平 成30年度予算も1億2900万円が予 定されています。



リニューアル予定のバードピア浜北

⑦「運動部活動ガイドライン」の策定

平成30年4月策定。これにより、「ブラック部 活」といわれていた学校における部活動問題が 教師の側からと生徒・親の側からそれぞれに状 況調査と改善が行われ、健全かつ効率的な部活 動運営、そして競技環境の整備、競技者バック アップ体制の強化などが行われます。

これは、昨年2月の私の本会議質問での提言 をもとにしたものであり、スピーディな対処が なされたといってもよいと思います。まずは改 善への第一歩です。

⑧障がいをお持ちのかたの雇用

知的障がいをお持ちのかたのなかで秀でた芸 術性をお持ちのみなさまに、企業の広報部門や デザイン部門で働く「アート雇用」を周知し拡大。

⑨高度情報化への対応

中小企業や若手起業者が、人工知能やビッ クデータ、ナノテクノロジーなどの先端技術 や関連情報を得やすくするシステムや支援体 制の構築が急務と感じている。まずは県の産 業成長戦略会議とは別に、旧来型の産業構造 とは違うIT系などの新産業、新業態を対象 にした「ネオ新産業成長戦略会議」を設置し、 "とがった産業"の育成支援体制を構築すべき と提案し、現在策定中の「産業成長戦略 2018」に入れ込む予定。

⑩企業局造成対象に植物工場他追加

県企業局による工業用地の造成整備対象事 業に近年の高まるニーズを受けて「陸上養殖 施設用地」と「植物工場用地」を追加すべきと 提案し、平成30年3月27日に新たに造成対象 用地に追加することを告示。

①「静岡県産業成長戦略2018」& 「静岡県産業人材確保育成プラン」の策定

産業構造の転換をスピーディに効率よく、 かつ戦略的に行うために、「静岡県産業成長戦 略2018」と、そのための人材確保と育成を 並行して行うための「静岡県産業人材確保育 成プラン」を策定いたしました。

これは、私が昨年度の本会議質問で提言し、 今年度の産業員会で提言を繰り返して、静岡 県の産業政策の設計図ともいえる両計画の策 定に至ったものです。

産業政策が地域経済の土台をつくり、生活 を支え、未来を拓く、といっても過言ではない と思いますので、今後も柔軟に時代の変化に

も機敏に対応でき るよう、先を読みな がら手直しを加え つつ地域産業の隆 盛と人材育成支援 に努めてまいりた いと思います。



⑫ふじのくにお茶の都ミュージアム開館

「ふじのくにお茶の都ミュージアム」が3月2 4日開館しました。日本一のお茶産地である静 岡県のお茶の歴史、茶道文化の紹介や体験メ ニュー、お茶を使ったおいしい料理やお菓子を 味わうこともできます。世界への玄関口に静岡 県らしい薫り高い施設の完成です!ぜひ一度ご 覧になってみてください。



⑬富士山世界遺産センター開館

世界文化遺産となった富士山を訪れる国内外 のみなさまに、富士山の文化的価値の高さや歴 史、そして自然環境を知っていただくためのビ ジターセンターが2017年12月23日(ふじさん の日)に開館いたしました。

建物前の水盤に、この建物の逆さ富士が映り 込み、さらには本物の富士山の逆さ富士の姿も 映り込むという、一度に、4つの富士山を見られ るという趣向です。また、内部も富士登山を疑似 体験できるという設計で、日本古来の匠の技と 現在の技術の粋が詰まったデザインが印象的な 建物になっています。設計は世界的な建築家、坂 茂氏です。

疑似登山を登り終える と、そこには素晴らしい本 物の富士山が待っている という感動がありますの で、ぜひお誘いあわせての ご来館をお待ちしており ます。

設計士建築家 坂さんと

⑭浜松に次世代自動車センターを設置

「EVショック」と言われるように、電気自動 車(EV)などの新しい自動車のカタチへの急激 な自動車業界の変化に対応するため、関連中小 企業の開発や部品の高度化などを支援研究する 「次世代自動車センター」を浜松商工会議所内に 「浜松地域イノベーション推進機構」の内部機関 として新設しました。この組織は、産官学金が連 携して、浜松地域の基幹産業である輸送機器関 連産業の未来を創ってゆこうという取り組みで、 2017年度の産業委員会で重ねて提言・議論し てきたことが、静岡県だけでなく浜松市や産業 界との連携で早速立ち上がったカタチです。し かし、立ち上げただけでは解決にはなりません から、新年度はバリバリ地域産業の未来づくり のために、県内のみならず国内外飛び回って、新 しい基幹産業を創るイノベーションを興してゆ こうと思っていますので、みなさまからもご指 導ご鞭撻を賜りますようお願いします。